令和5年度　能美市立寺井小学校　学校評価計画

重点目標（めざす姿）		具体的方策	主担当	評価指標	<評価の根拠>達成度判断基準	教職員アンケート	児童アンケート	保護者アンケート	取組状況	評価
1	組織的な学校運営	①【いじめ・不登校等の未然防止】 いじめ問題等記録シート、別室登校児童対応の報告と共有で組織的対応を行う。	教頭	【努力指標】 いじめ等記録シートで報告し学年で情報を共有した。 【満足度指標】 ひだまり教室の設置で不登校傾向の児童が安心して登校できるようになったと感じる。	＜実施状況・アンケートの状況＞ A:＋評価90%～ B:80%～　C:70%～ D:70%未満	いじめ等記録シートで報告し学年で情報を共有した。 ひだまり教室の設置で不登校傾向の児童が安心して登校できるようになったと感じる	学校生活は楽しい。	お子さんは学校生活を楽しんでいる。		
		②【放課後業務の時間確保と学年で情報共有の充実】 日課の短縮と会議を入れない日の設定、PTA各種お知らせと学級便りの電子化で放課後業務の時間確保と学年で情報共有の充実を図る。	教頭	【満足度指標・努力指標】 放課後業務の時間が確保されたと感じる。 学年団で毎日情報共有をしている。	＜実施状況・教職員アンケート＞ A:＋評価90%～ B:80%～　C:70%～ D:70%未満	放課後業務の時間が確保されたと感じる。 学年団で毎日情報共有をしている。				
2	知（自分の考えを伝える子）	①【探求サイクルのある総合学習の単元デザイン】 総合の学習を中心に、探求プロセスを意識して課題解決するよさを実感させる授業を研究授業を核に探っていく。	研究	【満足度指標】 総合・生活科を中心に「授業に主体的に取り組んでいる。」「学ぶことが楽しい。」と感じている児童の割合	（教・児アンケート） A:90%～ B:80%～ C:70%～ D:70%未満	総合・生活科を中心に、子どもたちは主体的に授業に取り組んでいると思う。	総合・生活科の授業が楽しい。	子どもは家庭学習に主体的に取り組んでいると思う。		
		【3つの接続詞を用いて思い・考えのやりとりのある授業づくり】 ・学び合いの中や振り返りの際に、3つの接続詞を用いることで学びを深める。 ・ICT端末を活用して、対話の量を増やす。	主幹	【成果指標】 3つの接続詞を用いて学習のふりかえりをすることができている児童の割合	単元末におけるふりかえりで3つの接続詞を用いて書けている児童の割合 A:90%以上 B:80%～ C:70%～ D:70%未満	3つの接続詞を用いてふりかえりを書かせたことで、子どもたちが論理的に考え、伝える力がついたと思う。	3つの接続詞をつかって自分の考えをあらわすことが身についてきている。	子どもは、自分の考えをつながりをもって表すようになった。		
		【読書の楽しさの実感】 ・図書委員会で図書室に行きたくなるようなイベントを企画し、読書を楽しむ機会を増やす。 ・学担と司書が連携し、授業と関連した図書の活用や家庭での読書を勧め、楽しい本に出会わせる。	図書	【満足度指標】 本を読むことが楽しいと感じる。	（教・児・保アンケート） A:90%～　B:80%～ C:70%～　D:70%未満	授業等で積極的に図書室を活用して読書をすすめている。	本を読むことが楽しいと思う。	家庭では、お子さんが読書ができるように配慮している。		
3	徳（よさを見つける子）	①【生徒指導の4つの視点】 生徒指導の4つの視点を意識して教育活動を行えるように自身で重点目標を定め、月1回チェックシートを用いて検証を行う。	生徒指導	【努力指標】 チェックシートで3つの項目中2つは肯定的評価がつく。 【成果指標】 魅力ある学校づくりアンケートでの「学校が楽しい」に当てはまると答える児童の割合。	＜教師アンケート・実施の状況＞ ＋評価 A:～90% B:～80%　C:～70% D:70%未満 ＜児童アンケート＞ A:＋評価90%～ B:80%～ C:70%～ D:70%未満	チェックシートで3つの項目中2つは肯定的評価がつく。	学校生活は楽しい。			
		②【魅力ある学校づくり】 各教科で学びのサイクルを回し、児童と共通理解した「わかる」を積み重ねていくことで、自己達成感・自己有能感・自己有用感を感じさせていく。	生徒指導研究	【成果指標】 魅力ある学校づくりアンケートでの「授業がよくわかる」に当てはまると答える児童の割合。	（教・児アンケート） 当てはまる A:～60% B:～50% C:～45% D:45%未満	各学年で目指す「よくわかる」を児童と共有し、学びのサイクルを意識した授業を行っている。	授業がよくわかる	ここでの分かるは、テストで100点をとれる「わかる」ではなく、教師と児童が共有した「わかる」なので、保護者アンケートでは、測れない		
4	体（自分の命を自分で守る子）	①【感染症対策、熱中症予防】 手洗いのポスターや熱中症指数の掲示を見て、自分の命や健康を守るための行動を取ることができるようにする。	保健主事	【成果指標】 新型コロナウイルス感染症や熱中症を予防するための正しい行動を自分で考えてできている。	（教・児・保アンケート） ＋評価 A:～85%　B:～75% C:～65%　D:65%未満	新型コロナウイルス感染症や熱中症を予防するための行動を自分で考えてできるよう指導している。	新型コロナウイルス感染症や熱中症を予防しようと考えて学校生活が送れている。	学校は、校内外の安全指導に努め、事故防止に配慮している。		
		②【食育を通じた望ましい食習慣の形成】 学校給食を活用した給食時間における食に関する指導の推進する。	保健主事	【成果指標】 学級配布資料を活用し、毎月の給食目標などについて指導している	（教・児アンケート） ＋評価 A:～85%　B:～75% C:～65%　D:65%未満	学級配布用資料（ぱくぱくだより）を活用し、給食目標などについて指導を行っている。	給食目標を意識している			
		③【体力アップ1校1プラン】 ゲーム要素を加えた運動を授業の始め等に行い、細かい動きができるようにする場を設定したり、段階的指導を行ったりしていく。	保健主事	【努力指標】 提案された予備運動や段階的指導を行った教師の割合。	（教・児アンケート） ＋評価 A:～85%　B:～75% C:～65%　D:65%未満	児童自らが体力・技能の向上やけが防止について判断できるよう、各種目・領域の段階的指導や予備運動を行っている。	体育の授業は楽しい			
5	家庭・地域との連携協働	①【学校運営協議会の充実】 読書活動とふるさと学習の推進、学習サポーター等、学校運営方針に沿って地域ができることを協議し、実行していく。	教頭	【努力指標】 学校は、地域や保護者の力を積極的にいかして教育活動を行っている。	＜保・教アンケート＞ A:＋評価90%～ B:80%～　C:70%～ D:70%未満	読書ボランティアの読み聞かせ・学習サポーター等、学校は、地域や保護者の力を積極的にいかして教育活動を行っている。	見守り隊や読み聞かせ、学校の勉強のお手伝いなど、自分は地域の人に支えられていると感じる。	読書ボランティアの読み聞かせ・学習サポーター等、学校は、地域や保護者の力を積極的にいかして教育活動を行っている。		
		②【開かれた学校づくり】 学校教育活動を家庭や地域に積極的に発信し、開かれた学校づくりに努める。	教頭	【満足度指標】 ホームページやコドモン、クロームブックを使って、教育方針や学校教育活動などをよく保護者に伝えている。	＜保・教アンケート＞ A:＋評価90%～ B:80%～　C:70%～ D:70%未満	学校は、ホームページやコドモン、クロームブックを使って、教育方針や学校教育活動などをよく保護者に伝えている。		学校は、ホームページやコドモン、クロームブックを使って、学校のことをよく保護者に伝えている。		